



★星空ガイド 1月16日～2月15日

よいの星空

1月16日22時頃
2月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

1月16日 4時頃
2月1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
1	16	金	7:04	17:10	2:25	13:14	25.1
	21	水	7:03	17:15	7:08	18:13	0.6
	26	月	7:00	17:20	10:38	23:50	5.6
2	1	日	6:56	17:26	15:13	4:33	11.6
	6	金	6:52	17:31	19:41	7:45	16.6
	11	水	6:48	17:36	---	10:29	21.6
	15	日	6:44	17:40	3:05	13:38	25.6

※惑星は2015年2月1日の位置です。

<木星が衝>

2月7日に木星が衝となり、観望好機を迎えます。衝とは、地球から見て太陽と惑星が正反対の方向に来る位置関係です。太陽を中心にみると、地球と惑星が同じ側に来ますから、地球と惑星の距離が一番近くなる位置関係でもあります。

逆に、地球と惑星が一番遠くなる位置関係は、太陽をはさんで地球と惑星が反対側に来る位置関係(「合」と言います)の時です。

木星の場合ですと、太陽と木星の距離は約5.2天文単位ですから、衝の時の地球と木星の距離は約4.2天文単位、合の時

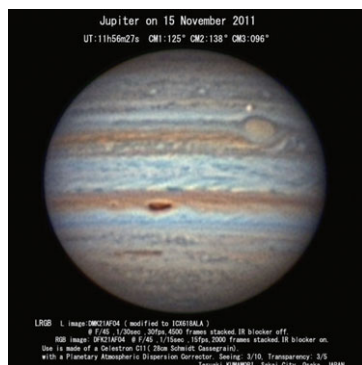
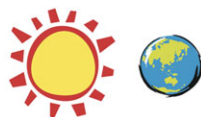
の地球と木星の距離は約6.2天文単位と、1.5倍近い違いがあります。衝の時は、地球との距離が近いだけでなく、太陽と反対側に位置していますから、ほぼ一晩中観察することが可能になるので、観測の絶好機になります。合の時は、地球との距離が遠いだけでなく、太陽の近くに位置するために、望遠鏡を向けることすら困難になります。



しょう
衝



ごう
合



木星:熊森照明氏撮影

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
1	20	火	●新月(22時) / 大寒 夕方西の空で、火星と海王星が約0.4度まで接近
	22	木	夕方西の空で、月と金星が約6度離れて並ぶ
	23	金	夕方西の空で、月と火星が約4.5度まで接近
	25	日	北日本で天王星食(大阪では食にならない)
	27	火	●上弦(14時)

月	日	曜	主な天文現象など
1	30	金	水星が内合(太陽に近く、観測できない)
2	3	火	節分
	4	水	○満月(14時) / 立春 月と木星が約6度離れて並ぶ
	7	土	木星が衝
	12	木	●下弦(13時)
	13	金	夜明け前に月と土星が約2度まで接近

飯山 青海(科学館学芸員)